

長浜ロータリークラブ



「長浜・北のわ湖大花火大会」
写真同好会 北村 隆信 君 提供

■例 会 / 毎週月曜日 12:30~13:30
 ■会 場 / 北ピコホテルグライエ
 ■創 立 / 昭和26年2月26日
 ■事務局 / 〒526-0067 長浜市港町4-17 北ピコホテルグライエ別館
 TEL (0749)63-3500 FAX 62-6618
 E-mail:n-rotary@circus.ocn.ne.jp HP:http://nagahama-rc.org/

●本日のRI財団為替交換レート \$1=¥88



「地域を育み、大陸をつなぐ」

RI会長 レイ・クリンギンスミス

(真のロータリアンをめざして)

「ロータリーを良く学び、変化を知り、忘れたことを思い出そう」 RI2650地区ガバナー 栗田 幸雄

「ロータリーの価値観を分かち合おう」 長浜ロータリークラブ会長 笹原 俊昭

第2847回例会
 2010年8月23日(月)
 12:30~

■プログラム

「回顧「昭和三十年代」」

講師：成 田 益 規 君
 担当：成 川 益 規 君



業を通じた貢献をより考えて下されば、本当に天職を通じた社会への貢献を考えてくだされば、いまの閉塞感のある日本ももっと良くなるのではないかと考えています。ロータリーの外部活動も原点に戻り、再考し、再点検する必要がありますように考えます。
 (ロータリーは慈善団体ではありません。発展途上国の援助が目的の団体でもありません。金集め、人集めが目的の団体でもありません。ロータリーの本質には素晴らしい魅力がある。それを確かめ、再発見したいと思います。「ロータリーの心と原点」 Sack to Basics 基本に返ろう 廣畑富雄 著より (2006年発行・2005-6 RI第2700地区ガバナー)

ロータリーの心と原点

ロータリーを慈善団体と考えれば、毎週の例会も、高い出席率も、職業分類も必要がなくなる。しかしもしロータリーがそういう道を選べば、ロータリーがよって立つその大事な基盤を崩すことになるでしょう。

私個人のロータリーライフを振り返れば、私が世の中に一番貢献できるものは何か、それは自分の職業を通じてだと思っています。人の時間には限りがある、職業を通じた貢献が、一番大きいと思っています。・・・私自身のわずかな貢献は別としてロータリーには社会的に影響力の大きい方が大勢いらっしゃる。その方々が、職

インターシティミーティング

テ ー マ You are the Key (あなたが鍵です)
 日 時 9月11日(土) 13時~
 会 場 大津プリンスホテル
 (ホスト 草津ロータリークラブ)
 基調講演 「心のステージ」 桑山紀彦氏
 =映像と音楽で現役の医師が伝えたい、
 世界中の一生懸命生きる人々=
 ※多数ご参加下さい。

長浜ローターアクトクラブ報告

長浜RAC次例会は、「バーベキュー例会」です。会員増強を目的に、ゲームつきのバーベキューを行います。皆様のご出席をお待ちしております。
 日 時：2010年8月29日(日)
 登録開始11:00 開会点鐘11:30 閉会点鐘 15:00
 会 場：グリーンパーク山東
 登 録：長浜ロータークラブ事務局
 登録料：2,500円 登録〆切：8月25日(水)

隣接クラブプログラム

- 8月24日(火) / 長浜北RC
「第1回クラブフォーラム」
- 8月26日(木) / 彦根RC
「食の安全について」
- 8月27日(金) / 長浜東RC
「田村山のサンショウウオ」

開 会 点 鐘
 ローターソング
 来 客 紹 介
 食 事・(歓 談)
 会 務 報 告
 各 委 員 会 報 告
 会 長 の 時 間
 プ ロ グ ラ ム
 閉 会 点 鐘

2010~2011年度 理事・役員

会 長(理事) 笹原 俊昭
 幹 事(理事) 柴田 正明

会 計(理事) 永井 茂雄
 前会長/S・A(理事) 辻 喜八郎
 会長エレクト(理事) 畑澤 昭男
 副 会 長(理事) 小川 彰三
 (クラブ管理運営兼任)
 クラブ広報(理事) 梅本 敏彦

クラブ会員増強(理事) 北村 隆信
 専任プロジェクト(理事) 本城 善男
 (クラブ奉仕兼任)
 ローター財団(理事) 藪内 猛之
 職業奉仕(理事) 伊藤 寿彦
 社会奉仕(理事) 眞杉 義和

国際奉仕(理事) 関谷 松男
 新 世 代(理事) 岸本 一郎
 副 幹 事 森居健太郎
 副 S・A 国友 隆房
 会 計 監 査 岡野徳一郎

それでこそロータリー
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第20回「全国地芝居サミットin長浜」にむけて —秋の曳山子ども歌舞伎—

川村和彦君



全国地芝居サミットは、昭和60年代から平成の初頭にかけて、地域文化を活性化する活動の一環として農村歌舞伎など地域に根差した芝居復活の機運が高まったのを背景に、平成2年からその活動が始まったものです。地芝居とは、専門家が演じる大芝居（大歌舞伎）と違い、各地の祭礼等において農村舞台や曳山屋台の上などで、地元の人々によって演じられてきた伝統的なふるさとの歌舞伎です。滋賀県では、長浜曳山祭の子ども歌舞伎や、米原祭の曳山子ども歌舞伎などがあることが広く知られています。

本年全国地芝居サミットが20回目の節目の年を迎えるにあたって、長浜曳山祭の子ども歌舞伎を有する長浜で、「全国地芝居サミットin長浜 秋の曳山子ども歌舞伎」と銘打ち、平成22年11月6日と7日の二日間、全国地芝居サミットが開催されます。

ふるさと歌舞伎とも呼ばれる地芝居の伝統は、少子高齢化による後継者の不足や財政的な問題などから、その継承が危ぶまれるようになってきました。長浜では、政府のふるさと創生事業による交付金を基に、歌舞伎に不可欠な三味線・太夫・振付師の三役を育成する「三役修業塾」を開講し、地元の人々から義太夫や三味線奏者を育成するしくみを模索してきました。現在では本職の三味線演奏者を2名輩出、また長浜祭のみならず米原や垂井などの曳山祭に三役を派遣するなど、全国的にも注目される後継者育成の方途を有しています。しかしながら、

こうした活動とて将来的な保証はなく、全国の地芝居を継承する団体との情報交換は、今後ますます意味のあるものとなってゆくと考えます。先進的とされる長浜の三役育成の取り組みを全国の地芝居を伝承する人々に発信し、その成果を共有してゆくことは、子ども歌舞伎など日本中のふるさとの芝居文化の質を向上させ、互いにより高みを

▶長浜曳山祭子ども歌舞伎



目指すいしずえとなり、子ども歌舞伎など地芝居の保存と育成に携わる人々同士の情報交換や人事交流を促進し、全国の地芝居の伝統をより活性化させるものと確信いたします。



◀長浜ゆづ歌舞伎

◎他クラブ例会変更

ビジター有 不破の関 9/8・9/15、不破 9/30
ビジター無 不破の関 9/22、大津東 9/29

◆出席報告

月日・回	内容	会員 総数	免除 会員	事前 出席	事後 出席	ホーム クラブ	出席率
7/26・2844		64	10	4	3	46	92.98%
8/2・2845		64	10	2	1	49	92.86%
8/9・2846		64	10	2	1	43	79.31%

例会プログラム予定

● 8月30日
次回 「イニシエーションスピーチ」
講師：北川次夫君、山口正司君
担当：プログラム・出席委員会

● 9月6日
次々回 「江・浅井三姉妹博覧会についての概要報告」
講師：岸本一郎君
担当：新世代委員会

・・・童心にかえろう・・・肩書をおとそう・・・年令を忘れよう・・・